



自立活動「上級学校訪問の心構え」

6月11日(水)「上級学校訪問の心構え～特別措置のお願いのステップ～」をテーマに、きこえのグループ学習を行いました。

難聴生が進路を選択する際には、一般的な手続きに加え、「受検上の配慮申請書の提出」という個別の対応が必要となります。個別相談の場で希望する配慮の対応が可能かどうかを学校側に事前に確認する必要があるためです。中には何度も相談を重ね自身の聞こえの状態や必要な支援を説明すること。以前、ある生徒は同じ学校を5回訪ね、相談時間を取ってもらったと話していました。難聴生が理解のある環境で安心して学校生活を送るには、それほど多くの時間と準備が必要になることもあります。

今回の自立活動では、過去の御園生による特別措置の相談事例を参考に、上級学校への説明の際のポイントを確認しました。「自分の聞こえの状態や希望する配慮について、相手に分かりやすく説明する」ことや、「相談から措置の決定までにかかる時間を逆算し、余裕をもって個別相談に参加する」ことなどの大切さを、生徒達は理解したようです。



重要なのは、本人が自分のきこえ方をきちんと伝えた上で、必要な支援内容を明確に示すことです。そして、相手との対話の中で、最善の支援方法を一緒に考えながら、合意形成へと向かうことになります。中学卒業後も、難聴生達はこうした経験を繰り返しながら、自分のもつ力を発揮していくために支援環境を自ら整えていきます。彼らがこの力をしっかりと身に付けて卒業できるように、私たち難聴学級としても家庭と在籍校と連携しながら、このプロセスを丁寧にサポートしていきます。

進路関係のお話 ～家庭と中学校の連携は？～

受検時の配慮を希望する場合は、生徒と保護者が個別相談などの機会に、その旨を直接伝えることになります。では、その前に中学校へ何か伝えておく必要はあるのでしょうか？

例えば、都立高校を受検する際に提出する「学力検査等実施上の配慮申請書」は、保護者が記入しますが、中学校の公印が必要です。また、この申請書を提出する前に、中学校長が受検先の校長に連絡を入れるなど、学校同士のやり取りが発生します。つまり、高校に伝える内容については、事前に担任の先生と相談し、中学校としても内容を把握・確認しておくことが前提となります。

さらに、個別相談などで配慮を希望する旨を高校に伝え、高校側は支援の内容について検討を行います。この検討の過程で、生徒の障害の状態や中学校での生活の様子、希望している配慮の具体的な内容などについて、中学校の担任の先生に確認の連絡を入れることもあります。

そのため、ご家庭では、こうしたやりとりが起こることを踏まえて、事前に担任の先生に障害の状況や希望する配慮の内容を共有し、共通理解を図っておくことが大切です。そうすることで、ご家庭にとっても、先生にとっても、安心して進路に向けた準備が進められるでしょう。

ESAT-J（英語スピーキングテスト）の配慮申請

6月中旬に ESAT-J（中学校英語スピーキングテスト中学3年生対象）の教員向け説明会が開催されました。ESAT-Jには聴覚関係の受験上の配慮があるため、例年、難聴学級に在籍する生徒達はこれらの配慮を申請して受験に臨んでいます。

配慮区分	受験上の配慮の概要
4 (聴覚関係)	音声を文字化した冊子を利用 音声の聞き取りはなし 解答時間の延長あり 別室での受験
5 (聴覚関係)	音声を文字化した冊子を利用 音声を聞いて解く 解答時間の延長あり 別室での受験
6 (聴覚関係)	音声を文字化した冊子はなし 音声を聞いて解く 別室での受験
受験上の配慮申請は、 令和7年7月3日(木)～9月5日(金) までです。通常の実験申込の日程より締め切りが早いので注意してください。	

【ESAT-JのなんでもQ&A】

Q：補聴器をつけているけれど、学校のスピーキングテストでは配慮を受けずにやれています。受験上の配慮を申請しなくていいですか？

A：ESAT-Jは、質問文を聞くためにヘッドセットをつけて受験しますので、補聴器や人工内耳をつけているとヘッドセットの着用在が難しいと思います。在籍する中学校に体験用セットがありますので、試してみてください。

Q：障害者手帳をもっていなくても受験上の配慮を申請することはできますか？

A：できます。障害者手帳の有無は問われません。申請書は学校の公印が必要となるので、学校に相談の上、申請手続きを進めてください。

難聴学級に通級しているお子様につきましては、通級日に ESAT-J の受験上の配慮に関する内容を確認し、ご家庭と相談の上、申請内容を決定していきます。その後、在籍中学校宛に書類のご案内をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



夏休み中の在籍校訪問について

夏休み中に、在籍校の担任の先生と難聴学級教員による情報共有の場を設定したいと思います。

内容は、1学期の通級指導時の生徒の様子や委託検査の結果、学校での合理的配慮についてを考えています。

担任の先生方にはC4th上で連絡をさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

今後の予定

7月22日～25日 面談期間

8月26日(火) 中学難聴学級交流会

※蒲田駅に12:45集合

9月3日(水) グループ学習 15:30～



関東労災病院で委託検査を行いました

7月2日(水)に通級生を関東労災病院に連れて行き、聴力検査を実施しました。

毎年、難聴生の診察をしてくださっている先生からは、それぞれの生徒に対して「補聴器やロジャーなど、自分の持っている機器をしっかりと活用して少しでも聞こえやすい環境の中で生活できるといいね」とお話がありました。

中学校生活に慣れ、自分の聞こえや体調、授業内容や先生の声の大きさなどを考慮しながら、ロジャーを使用する授業や時間を選び、聞こえやすい環境を自ら整えている生徒もいます。一方で、補聴器のお手入れが面倒だったり、周りの目を気にしたりして、補聴器やロジャーの活用が日常場面で少なくなってしまう生徒も見受けられます。1学期を振り返るこの時期に、ご家庭でも補聴機器の装用状況について一度お話をいただければ幸いです。